

阿賀野市農業技術情報

平成25年6月27日発行
阿賀野市農業振興協議会

生育量「やや大」・カメムシ発生多 ～過剰生育に注意！ 中干しを徹底しましょう～

1 水稻生育状況【6月20日現在】

草丈	長い	茎数	多い
葉数	多い	葉色	濃い

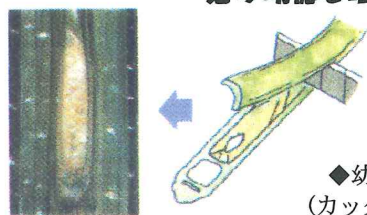
- 葉色が濃く、本格的な梅雨に入り、過剰生育に注意が必要です。
- 出穂期は平年より2日早まる予想です(6/20現在の葉数の進みと気温経過から予測)

品種名	地域名	田植日 (播種日)	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数			葉色(SPAD)		
			本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比
コシヒカリBL	水原 下条	5/10	48	141%	129%	420	117%	106%	9.1	0.6	0.4	41.7	4.8	2.4
	京ヶ瀬 駒林	5/4	46	116%	113%	421	107%	114%	10.0	1.6	0.9	39.4	0.2	-0.2
	安田 籠田	5/10	44	145%	126%	367	131%	107%	9.0	0.5	0.5	40.3	1.7	1.6
	笹神 宮島	5/4	47	126%	129%	357	121%	96%	9.1	0.6	0.2	39.8	-0.3	0.6
	笹神 沖	5/11	49	142%	151%	521	135%	169%	9.1	0.4	0.3	40.3	2.8	0.4
こしいぶき	水原 堀越	5/5	49	129%	130%	439	76%	98%	10.1	1.0	1.0	44.0	-0.3	-0.2
	京ヶ瀬 京ヶ島	5/3	44	114%	109%	424	74%	86%	8.9	-0.2	-0.3	41.3	-3.0	-3.4
	安田 籠田	5/10	41	146%	122%	371	128%	119%	9.1	0.6	0.4	43.5	3.5	1.7
五百万石	水原 福田	5/7	45	147%	132%	355	111%	108%	8.9	0.6	0.0	44.7	-1.7	2.5
直播コシヒカリ	水原 門前	4/30	31	111%	109%	366	75%	68%	8.0	0.7	1.1	44.2	6.6	7.5

2 今後の栽培管理

- (1) 中干し・溝切りが未実施のほ場は速やかに実施しましょう！<過剰生育防止・地耐力確保>
茎数がとれすぎる → 籾数がとれすぎる → 籾に栄養が行き渡らず、「未熟粒」「くず米」発生のおそれあり！
- (2) 中干しは出穂の30日前までに終了し、出穂25日前から湛水管理を行いましょう！<カドミウム吸収抑制対策>
- (3) 穂肥対応 ～倒伏防止・良食味米生産のため、穂肥は、まず幼穂を確認してから！～
幼穂の伸長は、梅雨期間中の日照時間や気温、梅雨期間の長短等によって大きく変動します。よって、右表(主要品種別出穂予想と穂肥の目安)はあくまでも目安とし必ず幼穂を確認して穂肥施用を判断してください。

必ず幼穂を確認しよう！



◆幼穂の確認方法
(カッターなどで割る)

こしいぶきは幼穂長1mm(出穂23日前)、コシヒカリは1cm(出穂18日前)が1回目穂肥時期の目

【幼穂長の目安】

出穂前日数	幼穂長(cm)
30	0.02
23	0.1
20	0.2
18	0.5～1.0
12	4.0～6.0

◆環境にやさしい稲づくりで消費者に選ばれる米づくり◆

～阿賀野市全域で、化学肥料や農薬を慣行栽培より3割以上低減する栽培に取り組ましよう！～

表 6月20日現在の主要品種別出穂予想と穂肥の目安
～出穂期は平年より早まる(平年差-2日)の見込み～

品種名	出穂予想		穂肥窒素量 めやす (kg/10a)	5/10移植における穂肥時期のめやす		湛水管理開始時期	
	播種4/上旬 移植5/5頃	播種4/20頃 移植5/10頃		1回目 穂肥時期(出穂前日数)	2回目 穂肥時期(出穂前日数)	早い移植	適期移植
こしいぶき	7/29	8/1	2	7/9 (-23)	7/18 (-14)	7/4	7/7
ゆきん子舞	7/29	8/1	2～3	7/7 (-25)	7/9 (-23)	7/4	7/7
ひとめぼれ	7/31	8/3	2～3	7/9 (-25)	7/14 (-20)	7/6	7/9
コシヒカリ	8/6	8/9	1～3	7/22 (-18)	7/25 (-15)	7/12	7/15
わたぼうし	7/27	7/30	2～3	7/8 (-22)	7/10 (-20)	7/2	7/5
こがねもち	8/1	8/4	1～3	7/17 (-18)	7/20 (-15)	7/7	7/10
五百万石	7/23	7/27	1～2	7/7 (-20)	7/15 (-12)	6/28	7/2
越淡麗	8/11	8/14	1～2	7/27 (-18)	8/4 (-10)	7/17	7/20

<注意>

- 出穂期は、今後の気温が平年並に推移した場合の予想です。
- 幼穂形成期・出穂期は今後の天候条件により変動するため、JA等の稲作情報を随時確認してください。
- 倒伏防止と後期栄養確保のため、1回目は無理せず「2回目」重点で施用しましょう。
- 3割以上低減栽培推進に向けて、有機質肥料の施用をお薦めします。なお、低地力地域は、肥効が緩やかな有機質肥料や緩効性肥料を使用し後期栄養対策を万全に行いましょう。

(4) 病害虫の発生状況と対策

- いもち病
 - ・至急！補植苗が散見されます。早急にほ場から撤去してください。
 - ・早生品種、大豆跡水稲は葉いもち防除を徹底してください。(予防剤の施用は早急に行おう)
 - ・コシヒカリBL導入以前においていもち病多発生が懸念されていた地域では、JA等の指導に従い全品種で葉いもち対策を行いましょう。
- 斑点米カメムシ類
 - ・昨年は特に「早生品種」「雑草の多い環境」で斑点米カメムシ類の被害が目立ちました。草刈りの徹底と薬剤防除で、斑点米ゼロを目指しましょう。

草刈りのポイント

- ・カメムシの餌となる「雑草の実」を結実させないように刈る(1度草刈りしても終わりではない)
- ・イネの出穂前に草刈りを終わらせる。
- 「早生の出穂前までに」「3週間おきに」「2回の」草刈りを行いましょう！

[地域一斉草刈り週間] 草刈りはこの期間内に終わらせるよう、計画的に作業しましょう

第1回一斉草刈り 6月21日(金)～6月30日(日)		
第2回一斉草刈り 7月12日(金)～7月21日(日)	アカスジカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ

★あぜの管理は「草刈り」で～除草剤に頼るのは確かに低労力ですが…ちょっとまって！～★
農村環境の保全や農作物への除草剤飛散を未然に防ぐためにも、農道畦畔の除草はなるべく除草剤を使わず草刈り機等で行いましょう！